

モンテッソーリ教育ってなあに?



No. 1

2008年4月

尾道清心幼稚園では、モンテッソーリ教育を取り入れた保育を行っています。保護者の皆さまに、この保育内容をより理解していただき、ご家庭での生活に活かしていただけたらと思い、今年もまた連載を始めます。

<<直感の人、マリア・モンテッソーリ>>

マリア・モンテッソーリは、1870年にイタリアに生まれました。

イタリアにおいて、女性で初めて医学の学位をとった後に、ローマ大学で精神病理学の研究をしました。

この膨大な研究がモンテッソーリ教育を生み出す基礎となりました。



Dr. Maria Montessori
[1870~1952]

☆子どもは自立したかっていますよ☆

○ 子どもたちは、日々「ひとりでしたい」「ひとりでできるようにになりたい」と思っています。

人間の「自立」への願いの表れであり、私たち大人はその願いが実現するよう手伝わなくてはなりません。

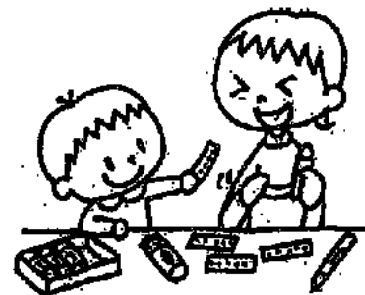
自立するということは、幸せになるということ。自分が精神的に満たされれば、自然と他人に対する寛容さやあたたかいまなざしが生まれてきます。お互いの違いや個性を認め合うことから、人間も社会も成熟していきます。子どもたちが、豊かな心で幸せな人生を送れるよう、そして、お家の方の子育てがより楽しく、充実したものになるよう、子どもに一步でも近づき、子どもをよく観察してその子が少しずつ変わっていく姿を一緒に見守っていきましょう。

子どもの姿

子どもが熱心につまんだり、回したり、空け移したり、切ったり、貼ったり...という活動を何度も繰り返したり、集中している姿を見たことはありませんか? 何回もなんかいも繰り返すからこそ、その動きが身につき、体や脳のネットワークが張り巡らされていくのです。また、繰り返す行動は、子どもの集中力をグンと高めます。納得がいくまでやり続けるからこそ、「できた!!」という喜びや満足感も生まれてくるのです。

ご家庭で、子どもが何かを集中しているのを身かけたら、まず見守ってあげましょう。

おもしろ〜い!!



まだやってるの??

◎そういった子どもの内面の欲求に沿って、活動の道具が幼稚園のお部屋には、たくさん用意されています。



あけうつし



紙切り

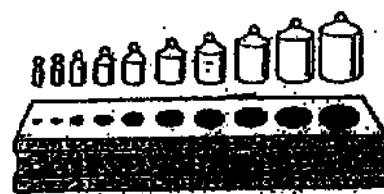


折り機



玉とおし

そして、モンテッソーリが考案した特別なものをモンテッソーリ教具と呼んでいます。



円柱さし



ピンクタワー



赤青棒

etc...

幼稚園では、子どもたちの様々な活動を「おしごと」と言っています。

モンテッソーリは、「子どもも働く存在」だと言いました。子どもが働くのは、お金や家庭のためではありません。

その意味で、大人の「仕事」と同語で表現することに多少の無理があります。でも、子どもは自分を「創る」ために働かなければならないのです。

子どもが、ぎこちない動作でゆっくり、しかし、真剣にボタンを留めているとしたら、それは「遊んでいる」のではなく、自立するために「働いている」のです。